

令和3年度(令和2年度事業対象)
教育委員会事務点検評価報告書

令和3年11月
久慈市教育委員会

— 目 次 —

I 点検・評価制度の概要	
1 根拠	1
2 目的	1
3 対象事業	1
4 点検・評価	1
II 教育委員会議の開催状況	
令和2年度教育委員会議の開催状況	2
III 点検・評価の結果	
1 学校教育の充実	4
1) 生きる力の育成	
2) 国際理解教育の充実	
3) 特別支援教育の充実	
4) 情報教育の充実	
5) 学習環境の充実	
6) 学校施設の充実	
7) 学校給食の充実	
2 生涯学習の充実	8
1) 生涯学習の充実	
2) 文化施設の連携と芸術文化活動の充実	
3) 図書館機能の充実	
4) 地域の歴史と文化の継承と発信	
3 生涯スポーツの振興	11
1) 生涯スポーツの充実	
2) 体育施設の有効活用	
3) 柔道のまちづくりの推進	
IV 外部点検・評価	
1 外部評価委員会の構成	14
2 評価結果	14

I 点検・評価制度の概要

1 根拠

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）」第26条において、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表すること、また、点検・評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされており、本報告書はこの規定に基づき作成したものです。

2 目的

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、すべての都道府県及び市町村に設置されている行政委員会です。その役割は、専門的な行政官で構成される事務局を、複数の委員による合議により、指揮監督し、中立的な意思決定を行うものとされています。

こうした中、事務事業の点検・評価は、教育委員会が、教育長以下の事務局を含む広い意味での教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価し、今後の教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくことを目的としています。

3 対象事業

点検・評価の対象事業は令和2年度の事業です。

対象範囲は、学校での学習指導・生徒指導に関することや社会教育に関することなど、地教行法第21条で「教育委員会の職務権限」として規定されている事務をはじめ、市長の補助執行として行っている事務を含む、本委員会が所管する事務事業です。

4 点検・評価

点検・評価は、全庁的に毎年実施している「行政評価」により、久慈市総合計画に位置づけられた施策を対象に担当部局において「実施状況報告書」を作成し、部長以上職員で構成する市政戦略会議で総合評価を行うとともに、その内容について外部評価委員会による点検・評価を行い、教育委員会議の審議を経て決定したものです。

なお、点検・評価の結果については、久慈市総合計画の基本方針「基礎戦略2 総合力豊かな人材を育てるまちづくり」の主要施策ごとに掲載しました。

II 教育委員会議の開催状況

令和2年度教育委員会議の開催状況

開催回数	開催日	定例会 臨時会	議案 報告	議案 番号	件名	提出課等	議決年月日	議決 結果
1	R2.4.30	定例会	議案	1	久慈市学校給食センター運営委員会委員の委嘱に関し議決を求めることについて	学校給食センター	R2.4.30	原案可決
			議案	2	久慈市社会教育委員の委嘱に関し議決を求めることについて	生涯学習課	R2.4.30	原案可決
			議案	3	久慈市図書館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて	生涯学習課	R2.4.30	原案可決
			議案	4	久慈市スポーツ推進審議会委員の任命に関し議決を求めることについて	生涯学習課	R2.4.30	原案可決
			議案	5	久慈市文化財保護調査委員の委嘱に関し議決を求めることについて	文化課	R2.4.30	原案可決
			報告	1	久慈市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則について	教育総務課	-	-
			報告	2	久慈市立小中学校に就学すべき者の学校の指定に関する規則の一部を改正する規則について	教育総務課	-	-
			報告	3	久慈市立学校職員の勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則について	学校教育課	-	-
			報告	4	久慈市部活動指導員設置要綱の一部を改正する告示について	学校教育課	-	-
2	R2.5.14	臨時会	議案	1	県費負担教職員に係る年度途中の人事異動の内申に関し議決を求めることについて	学校教育課	R2.5.14	原案可決
			議案	2	特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例に関する意見の申出について	教育総務課	R2.5.14	原案可決
			議案	3	令和2年度久慈市一般会計補正予算(第3号)に関する意見の申出について	教育総務課	R2.5.14	原案可決
3	R2.5.27	定例会	議案	1	令和2年度久慈市一般会計補正予算(第4号)に関する意見の申出について	教育総務課	R2.5.27	原案可決
			議案	2	久慈市立学校の閉校に関し議決を求めることについて	教育総務課	R2.5.27	原案可決
4	R2.6.25	定例会	議案	1	教育委員会職員の人事異動に係る臨時専決処理に関し承認を求めることについて	教育総務課	R2.6.25	原案可決
			議案	2	久慈市学校給食センター運営委員会委員の委嘱に関し議決を求めることについて	学校給食センター	R2.6.25	原案可決
			議案	3	久慈市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則について	教育総務課	R2.6.25	原案可決
			議案	4	久慈市教育委員会行政文書管理規程等の一部を改正する訓令について	教育総務課	R2.6.25	原案可決
			議案	5	久慈市立図書館雑誌スポンサー制度実施要綱の一部改正について	生涯学習課	R2.6.25	原案可決
5	R2.7.2	臨時会	議案	1	令和2年度久慈市一般会計補正予算(第5号)に関する意見の申出について	教育総務課	R2.7.2	原案可決
6	R2.7.30	定例会	議案	1	久慈市立小中学校の教育職員の業務量の適切な管理のための措置等に関する規則の制定について	学校教育課	R2.7.30	原案可決
			議案	2	令和3年度に使用する小学校及び中学校の教科用図書採択に関し議決を求めることについて	学校教育課	R2.7.30	原案可決
7	R2.8.20	定例会	議案	1	令和2年度久慈市一般会計補正予算(第6号)に関する意見の申出について	教育総務課	R2.8.20	原案可決
			議案	2	令和2年度久慈市一般会計補正予算(第7号)に関する意見の申出について	教育総務課	R2.8.20	原案可決
			議案	3	久慈市立小中学校設置条例の一部を改正する条例に関する意見の申出について	教育総務課	R2.8.20	原案可決

開催回数	開催日	定例会 臨時会	議案 報告	議案 番号	件名	提出課等	議決年月日	議決 結果
8	R2.9.24	定例会	-	-	なし	-	-	-
9	R2.10.9	臨時会	議案	1	令和2年度久慈市一般会計補正予算(第8号)に関する意見の申出について	教育総務課	R2.10.9	原案 可決
			議案	2	財産の取得に関する意見の申出について	教育総務課	R2.10.9	原案 可決
10	R2.10.22	定例会	報告	1	公舎の管理及び使用に関する規則の一部改正について	教育総務課	-	-
11	R2.11.19	定例会	議案	1	令和2年度久慈市一般会計補正予算(第9号)に関する意見の申出について	教育総務課	R2.11.19	原案 可決
12	R2.12.17	定例会	議案	1	久慈市立小中学校に就学すべき者の学校の指定に関する規則の一部を改正する規則について	教育総務課	R2.12.17	原案 可決
			議案	2	久慈市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令について	教育総務課	R2.12.17	原案 可決
			議案	3	小中学校事務の共同実施要綱の一部を改正する訓令について	学校教育課	R2.12.17	原案 可決
13	R3.1.21	定例会	-	-	なし	-	-	-
14	R3.2.12	定例会	議案	1	令和3年度教育行政方針演述に関し議決を求めることについて	教育総務課	R3.2.12	原案 可決
			議案	2	令和3年度久慈市一般会計予算に関する意見の申出について	教育総務課	R3.2.12	原案 可決
			議案	3	令和2年度久慈市一般会計補正予算(第12号)に関する意見の申出について	教育総務課	R3.2.12	原案 可決
			議案	4	令和2年度スポーツ表彰規程に基づく被表彰者の決定について	生涯学習課	R3.2.12	原案 可決
			議案	5	就学支援委員会規則の一部を改正する規則について	学校教育課	R3.2.12	原案 可決
			報告	1	令和2年度久慈市一般会計補正予算(第11号)に関する意見の申出について	教育総務課	-	-
			報告	2	令和2年度教育奨励基金条例に基づく被表彰者について	教育総務課	-	-
			報告	3	令和2年度市民文芸賞条例に基づく被表彰者について	文化課	-	-
15	R3.2.26	臨時会	議案	1	県費負担教職員に係る令和3年度定期人事異動の内申に関し議決を求めることについて	学校教育課	R3.2.26	原案 可決
16	R3.3.9	定例会	議案	1	教育委員会職員の人事異動に関し議決を求めることについて	教育総務課	R3.3.9	原案 可決
			議案	2	令和2年度久慈市一般会計補正予算(第13号)に関する意見の申出について	教育総務課	R3.3.9	原案 可決
			議案	3	令和3年度久慈市一般会計補正予算(第1号)に関する意見の申出について	教育総務課	R3.3.9	原案 可決
			議案	4	久慈市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部改正について	教育総務課	R3.3.9	原案 可決
			報告	1	令和2年度教育奨励基金条例に基づく被表彰者の追加について	教育総務課	-	-
17	R3.3.30	臨時会	議案	1	久慈市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則について	教育総務課	R3.3.30	原案 可決
			議案	2	久慈市教育委員会事務局等職員定数規程の一部を改正する訓令について	教育総務課	R3.3.30	原案 可決

Ⅲ 点検・評価の結果

1 学校教育の充実

1) 生きる力の育成

【取組】

「総合的な学習の時間」では児童・生徒の「生きる力」を育むことを目的として多様な体験活動を主とした学習を展開しました。小学校では農作物の栽培、そば打ちを、中学校では宿泊研修やキャリア教育が主な活動となりました。

市内の小・中学校の児童・生徒が一堂に会した音楽発表会では、小学校の部に437名、中学校の部に421名が参加し、日頃の活動の成果を発表し合いました。

また、山形地区では少人数では取り組むことが難しい学習活動を集合学習により年7回実施しました。また、中学校の教科書改訂に併せて教師用のデジタル教科書の整備を行いました。

【評価】

総合的な学習の時間では地域や企業の方々からの協力をいただきながら活動を行いました。今後も児童・生徒の活動の幅や視野を広げるため事業を継続していきます。

市内小中学校音楽発表会は日頃の音楽活動の成果を発表し合い、他校の発表の鑑賞をとおして豊かな表現力や音楽性を高める機会となりました。

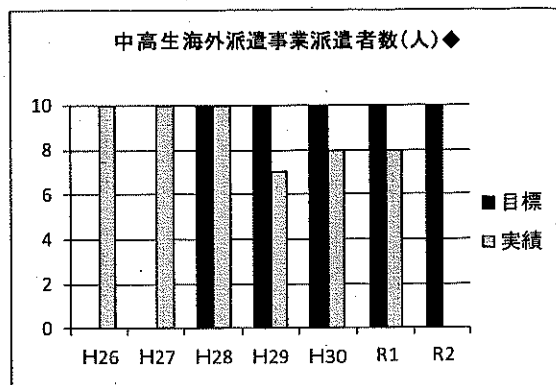
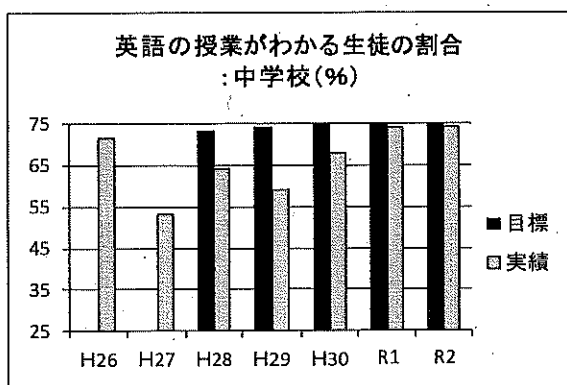
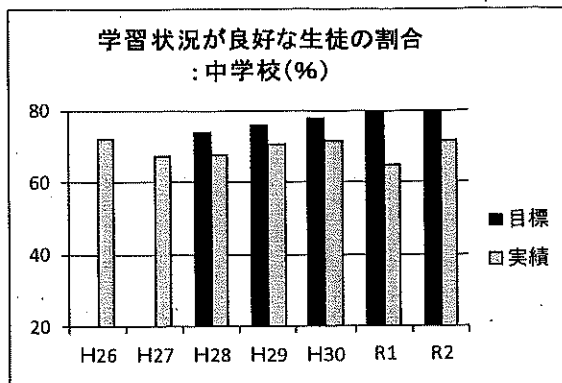
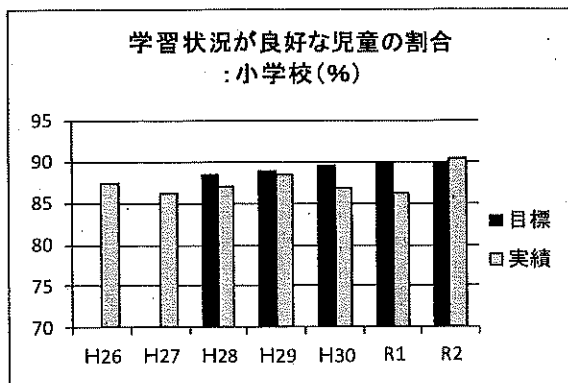
山形地区の集合学習では、中学校で一緒に学ぶことになる児童が月に1回程度集まり、協力して活動を行うことにより、進学後の学級活動の順調なスタートにつながっています。

CRT（教研式標準学力検査）の結果によると学習状況が良好な児童・生徒の割合は小学5年生が90.4%、中学2年生では71.5%となりました。指導主事学校訪問事業により、市内各小・中学校を訪問し、各校が立案し実施している「確かな学力育成プラン」の進捗状況の把握と指導に努めます。

【指標の状況】

◆：新型コロナウイルス感染症の影響が大きい指標

指標（単位）	基準値	区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2
	(H26)							
学習状況が良好な児童の割合・小学校(%) (CRT:評定2以上の子どもの割合)	87.5	目標		88.5	89.0	89.5	90.0	90.0
		実績	86.3	87.0	88.4	86.8	86.3	90.4
		達成率		98%	99%	97%	96%	100.4%
学習状況が良好な生徒の割合・中学校(%) (CRT:評定3以上の子どもの割合)	72.0	目標		74.0	76.0	78.0	80.0	80.0
		実績	67.4	67.7	70.7	71.7	65.1	71.5
		達成率		91%	93%	92%	81%	89.4%
英語の授業がわかる生徒の割合(%)	71.7	目標		73.5	74.0	74.5	75.0	75.0
		実績	53.0	64.0	59.0	68.0	74.0	74.0
		達成率		87%	80%	91%	99%	98.7%
中高生海外派遣事業派遣者数(人) ◆ ※再掲	10	目標		10	10	10	10	10
		実績	10	10	7	8	8	未実施
		達成率		100%	70%	80%	80%	—



2) 国際理解教育の充実

【取組】

外国語指導助手 (ALT) を3名雇用し、市内小・中学校で外国語活動及び英語指導補助を行いました。

【評価】

外国語指導助手 (ALT) の派遣により、小・中学校における英語教育の充実が図られています。岩手県学習定着度状況調査の結果によると英語の授業がわかる生徒の割合が令和元年度及び令和2年度とも74.0%と目標値を下回っていますが、平成27年度から見ると大きく上昇しています。今後さらに英語教育の充実を図り、目標達成に努めます。

3) 特別支援教育の充実

【取組】

特別な支援を必要とする児童・生徒がいる学校でのきめ細かな指導を実現するとともに、学校生活を充実させるため、くじかがやきプラン特別支援教育支援員を市内18校に24名配置しました。

【評価】

就学支援コーディネーターを中心とした就学前の支援及び就学後のくじかがやきプラン特別支援教育支援員の配置により、児童生徒への目の行き届いた支援・指導が可能となっていますので今後も継続します。

4) 情報教育の充実

【取組】

スマートフォンやSNS等の利用に際しての留意点等を盛り込んだ児童・生徒向け啓発リーフレット2種を各小・中学校に配布しました。岩手県教育委員会主催の「情報モラル教育授業づくり研修会」に各中学校の教職員が参加しました。

また、いじめ問題等についての知識の習得と理解を図るとともに、いじめの実態把握、いじめの未然防止の取組、重大事態への対応等及び情報モラル指導について、研鑽をつみました。

学校 ICT 環境については、全学校に校内無線 LAN 環境を整備するとともに、教職員校務用パソコン 404 台及び指導用タブレット端末 461 台を配備し、デジタル教科書や校務支援システムなどのソフトウェアを活用した情報教育の推進と校務の効率化を図りました。また、児童・生徒 1 人 1 台のタブレット端末 2,612 台の配備、学習支援ソフトの導入、充電保管庫の設置、高速通信に対応した校内 LAN ケーブルへの更新を実施し、「GIGA スクール構想の実現」に向けた環境整備を推進しました。

【評価】

リーフレットの配布や研修会等により、児童・生徒と教職員、保護者の情報教育に関する意識は高まっています。各校でも情報モラルに関する研修や指導を行っています。今後も継続して支援の充実を図ります。

また、「GIGA スクール構想の実現」に向けて、学校 ICT 環境が拡充されたことから、今後も ICT を活用した学習活動を推進します。

5) 学習環境の充実

【取組】

●遠距離通学支援事業

小・中学校の統合により、遠距離通学となった児童・生徒に対し、スクールタクシー10路線の委託運行に加え、山根・滝方面及び山形地区(5方面)ではスクールバスを直営で運行しました。

また、市民バスを利用する児童・生徒に対しても乗車券を交付し、安全な通学手段を確保しました。

●就学援助事業

経済的な理由によって就学困難な児童 370 人、生徒 201 人の家庭に対し、就学援助費 41,328 千円を支給しました。また、東日本大震災により被災した児童 2 人及び生徒 2 人の家庭に対し、就学援助費 293 千円を、特別支援学級就学児童 48 人及び生徒 22 人の家庭に対し、経済状況により就学奨励費 1,976 千円を支給しました。

【評価】

●遠距離通学支援事業

児童・生徒の減少に伴って送迎人数は減少傾向にありますが、引き続き各地区及び学校の状況に応じた通学支援を推進していきます。

●就学援助事業

経済的な理由によって就学困難な児童・生徒数の実支給者数を前年度と比較すると、47人の減少であり、支給金額では5,836千円の減少となりました。

このうち、東日本大震災被災分の児童生徒数は、前年度より7人の減少であり、金額では646千円減少しました。特別支援については、前年度より9人の増加であり、金額では655千円の増加となっています。今後も費目毎の支給額の見直しなど、援助事業の充実を図ります。

6) 学校施設の充実

【取組】

改修工事等6件、小修繕等166件を実施し、学校施設の維持管理及び環境の充実に努めました。

(改修工事等)

小久慈小学校：防火設備改修

大川目小学校：特別支援教室改修

山形中学校：防火設備改修、屋根改修

久慈中学校：特別教室棟外装改修

山形地区小中学校：エアコン設置

(遊具の修繕)

小久慈小学校、宇部小学校

【評価】

学校施設の地震対策については、平成26年度に耐震化率100%を達成し、平成27年度には7校の天井落下防止対策を実施しました。トイレの水洗化については、平成28年度に水洗化率100%を達成しました。また、設備関係については、平成28年度から計画的に受変電設備の更新を行っています。

久慈湊小学校の移転改築事業については、令和2年3月に久慈湊小学校移転改築基本構想を策定しましたが、今後岩手県が公表を予定する県の津波浸水想定を参考に安全対策の再検討を行いながら進めます。

今後も「小中学校の適正配置に関する基本方針」等との整合性を保ちながら、学校施設の適切な維持管理を図り、計画的な整備を進めます。

7) 学校給食の充実

【取組】

児童・生徒・教職員等約3,000人に対し、安心・安全な給食を提供しました。

主食の米は久慈市産米を93%、牛乳については「おおのゆめ牛乳」により久慈地域産100%を使用し、その他海産物・野菜類等、地域の特産物についても、食材の旬や生産時期に応じて地場製品の活用にも努めました。

また、栄養教諭による食育授業を小・中学校あわせて110回実施したほか、当市の特産食材を活用した「地産地消ふれあい給食の日」を、11月から2月にかけて

て計 12 回実施し、併せて生産者等を交えての出前講座を 8 小学校で開催し、農林水産業への理解を高める機会を設けるなど、食育を推進しました。

令和 2 年度から学校給食の献立の質を維持することを目的に、給食費を小学校 1 食当たり 280 円、中学校 1 食当たり 300 円に改定し、給食基準日数を 172 日としました。

【評価】

地産地消は、食育指導をするにあたり、地域の食文化や産業についての関心や理解を深め、食に関わる人々や食物への感謝の気持ちを育ませるなど、教育的意義が高いことから、引き続き推進します。

また、毎年 3 割程度で推移している地域産食材の購入割合を高めるため、郷土料理や和食を活用した給食の提供を推進するなど、地場製品の更なる利用を図ります。

2 生涯学習の充実

1) 生涯学習の充実

【取組】

●学校・家庭・地域の連携協力推進事業

地域全体で子どもを育む環境づくりを充実させるため、学校・家庭・地域の連携協力推進事業を実施しました。家庭教育の支援としては、乳幼児期から思春期までの子どもとその保護者を対象に、小・中学校を会場に 18 回の学習機会を提供しました。各市民センターを拠点に実施する放課後子ども教室では、1,731 人のサポーター等指導者が参画して子どもたちの放課後の見守りや活動支援を行いました。学校支援地域本部事業では、学校と地域の連携協働体制を構築するため、地域のボランティア 6,294 人の協力を得て、20 校において学校の教育活動を支援する取り組みを実施しました。

●生涯各時期における学習活動の支援

各市民センターにおいては、子どもから高齢者まで各年代のニーズに応じた様々な講座や事業を展開し、市内 9 市民センターにおいて 879 回の学習機会を提供し、14,979 人の参加がありました。

●公民館類似施設等社会教育事業費補助事業

公民館類似施設における社会教育活動を支援するため、施設の備品購入や維持補修事業に対し、15 館に補助金 2,147 千円を交付しました。

【評価】

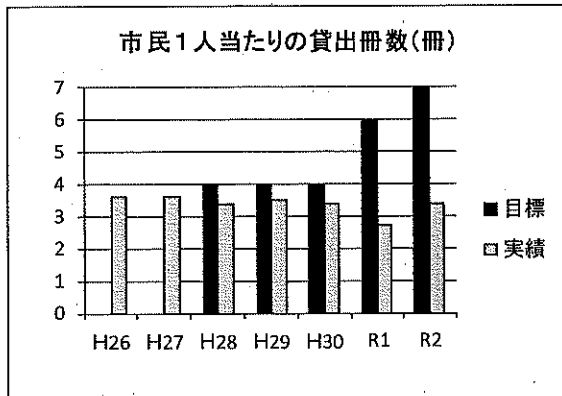
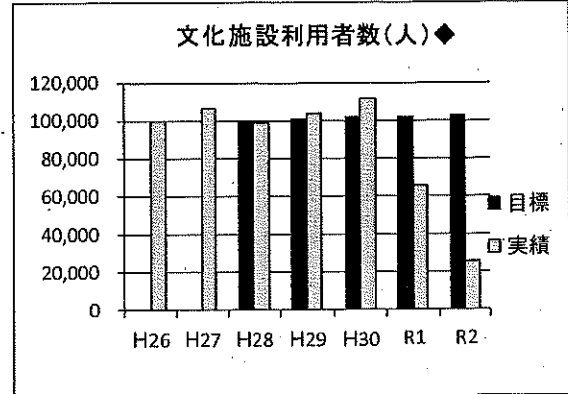
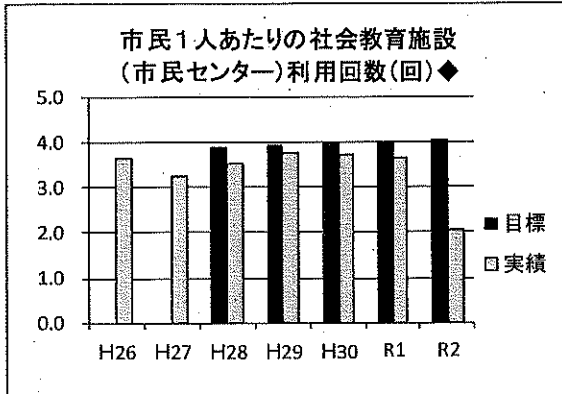
生涯学習や地域づくり活動の拠点である市民センターの利用者は、68,853 人であり、市民 1 人あたり 2.04 回の利用実績となり、目標を大きく下回る事となりました。新型コロナウイルスの感染症予防対策による事業中止のほか、サークル活動等、市民の集会活動を制限したことによるものが原因と思われます。今後、予防対策を図りながら、地域づくりや学習活動の場として、市民や団体等が気軽に集まり、利用しやすい施設になるよう努めます。

公民館類似施設については、老朽化が進み、地域における社会教育環境の整備が求められているところであり、補助制度の継続により支援します。

【指標の状況】

◆:新型コロナウイルス感染症の影響が大きい指標

指標(単位)	基準値	区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2
	(H26)							
市民1人あたりの社会教育施設(市民センター)利用回数(回)◆	3.65	目標		3.89	3.93	3.98	4.02	4.06
		実績	3.27	3.52	3.75	3.72	3.64	2.04
		達成率		90%	95%	93%	91%	50%
文化施設利用者数(人)◆	99,700	目標		100,200	100,700	101,200	101,700	102,200
		実績	106,168	99,248	103,127	110,640	65,897	25,621
		達成率		99%	102%	109%	65%	25%
市民1人当たりの貸出冊数(冊)	3.6	目標		4.0	4.0	4.0	6.0	7.0
		実績	3.6	3.4	3.5	3.4	2.7	3.4
		達成率		85%	88%	85%	45%	49%



2) 文化施設の連携と芸術文化活動の充実

【取組】

芸術・文化創造活動の推進のため、市制施行15周年記念公演として「音楽の贈り物 Vol.5～オール・チャイコフスキー・プログラム～」「日生劇場ファミリーフェスティバル2020 NHK みんなのうたミュージカル『リトル・ゾンビガール』」「DRUM TAO『THE BEST LIVE 祭響』」「演劇公演『岬のマヨイガ』」の4公演を企画し、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした『リトル・ゾンビガール』を除く3公演を実施したほか、共催公演を合わせて、鑑賞型事業は計6事業を実施し、来場者は1,283人(前年度5,489人)でした。前年度と比較し、9事業減、来場者数は4,206人、76.6%の減となりましたが、これは自主公演のほか「おらほーる劇場(公演)」や「岩手県青少年劇場」の中止、共催公演の減少によるものです。

育成・参加型事業は、「吹奏楽クリニック」「合唱ワークショップ」「おらほーる劇場(創作活動)」などの事業を中止しましたが、「あなたもアーティスト」や

「ピアノマラソンコンサート」「文化団体活動支援事業」を実施しました。助成事業に伴う地域交流事業として「仙台フィルハーモニー管弦楽団による管弦楽クリニック」や「児童文学ふれあいトーク」「演劇ワークショップ」を実施し、助成条件を満たしました。参加者は505人（前年度5,550人）で前年度比、5,045人・91.0%の減となっており、主催の育成・参加型事業の中止のほか、文化庁が実施する「文化芸術による子供育成総合事業」の中止が影響しました。

コロナ禍において、来場者、参加者の安全・安心を担保しながら事業を実施するにあたり、「新型コロナウイルス感染防止主催者対応マニュアル」を作成し、国の指針や感染状況等をふまえて判断し、文化・芸術の提供に努めました。

【評価】

文化施設利用者数は25,621人で目標値の102,200人を大きく下回りました。これは、音響改修工事による大小ホールの利用中止及び新型コロナウイルス感染症予防のためイベント開催自粛や収容人数などの制限による影響です。今後においても市民のニーズを把握するとともに、新型コロナウイルス感染予防の対策を行いながら、多くの市民が利用できる事業実施と貸館の利用促進に努めます。

3) 図書館機能の充実

【取組】

●新図書館整備事業の推進

駅前に整備した情報交流センター内に全面移転し、既存資料約10万冊の引越しを行い、指定管理者による新しい管理運営を開始しました。新図書館においては、蔵書をIC管理とし、自動貸出機を導入するなど、安心な管理を進めるとともに、利用者の利便性の向上に努めました。感染症予防対策のため、一部事業規模を縮小することとなりましたが、企画展（2館計52テーマ）や新規事業の「プログラミングワークショップ」や「ヨムノスシネマ」等を開催し、読書に対する関心や図書館事業への理解を深める機会としました。

●子育て応援事業の推進

子どもたちの成長に読書活動が重要であることを踏まえ、親子の触れ合いを深める機会として、ブックスタート事業（絵本のプレゼント）を継続するとともに、新規事業「ぬいぐるみおとまり会」の実施や、感染症予防対策を講じた読み聞かせ等をボランティアの協力のもと11月以降毎月実施しました。

【評価】

新図書館新築オープンに向け、資料の引越しのため、3ヶ月間休館し準備作業を行いました。また、新型コロナウイルス感染予防対策によるオープニングイベント等の縮小や、各種事業規模を縮小したため、貸出冊数は2館合計で115,350冊、市民1人当たり3.4冊となり、新築オープンによる増加を見越した目標値には至りませんでした。自動貸出機や図書除菌機などによる利便性の向上や、電子書籍サービスや「プログラミングワークショップ」等の新規事業の導入、休館時の移動図書館車サービスの拡大などにより、前年度の実績を上回っています。

今後も地域での活動支援や非来館サービスが重要となることから、感染症予防対策を講じながら、より親しまれる施設運営に努めます。

4) 地域の歴史と文化の継承と発信

【取組】

新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業の実施に大きな影響が出ました。旧長内中学校跡を活用し運営している久慈市歴史民俗資料室は、予約制により一般公開を実施しています。令和2年度は235人の来場があり、前年度比約39%の減となりました。施設の敷地を会場に開催される小久慈朝市にあわせて特別公開を実施しましたが、令和2年度の朝市は10月、11月の2回のみで開催となりました。また、「文化財めぐり」や「文化財展」などのイベントも中止となりました。

市内の小学校における出前授業や市民センターの主催による講座等に職員を派遣、歴史と文化の周知に努めました。

芸術文化事業では、久慈市民芸術文化祭の合同発表が中止となり、会員団体による個別の発表会も行われませんでした。

【評価】

歴史民俗資料室は、久慈市の製鉄史・郷土の偉人・考古学等の資料や、住民から寄贈された古民具を展示・公開し、収蔵資料は点数、内容とも充実しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により来場者数が大きく減少しましたが、市内小学校の民具の授業による見学に活用されており、学習の場としての役割を果たしています。施設の適切な管理と運営、収蔵資料の保管に努めていくとともに、地域に残された貴重な文化財の保存と調査、情報発信を行います。

3 生涯スポーツの振興

1) 生涯スポーツの充実

【取組】

●生涯スポーツ

新型コロナウイルスの影響により、市民マレットゴルフ大会や一部のスポーツ教室は中止となりましたが、感染状況を踏まえながら、感染予防対策を講じ可能な限りスポーツ教室を開催し、スポーツ活動の機会を提供しました。

- ・市民マレットゴルフ大会 中止（0大会・参加者0人、前年度比1大会減・73人減）
- ・スポーツ教室 開催（33回開催・参加者580人、前年度比8回減・167人減）
また、各競技団体等に補助金を支出し、スポーツ人口の拡大や選手の発掘、指導者の養成等を図りました。
- ・社会体育団体育成補助金
- ・スポーツ少年団育成補助金
- ・スポーツ振興事業費補助金

●スポーツ大会

新型コロナウイルスの影響により、多くのスポーツ大会が中止となりましたが、感染状況を踏まえながら、市体育協会、関係団体と連携して感染予防対策を講じ、可能な限りイベントを開催し、誰でも参加できる安全で魅力ある大会運営に努めました。

- ・第15回久慈市民体育大会 中止 (参加者0人、前年度比2,692人減)
 - ・第25回もぐらんぴあ駅伝競走大会 中止 (参加者0人、前年度比507人減)
 - ・第5回久慈あまちゃんマラソン大会 中止 (参加者0人、前年度比1,365人減)
 - ・市長杯争奪大会3大会 (マレットゴルフ、少年野球、スキー・スノーボード)
 - ・4大会を中止 (柔道、パークゴルフ、ゲートボール、ゴルフ)
- (参加者計645人、前年度比223人減)

【評価】

指標である生涯スポーツに関する満足度平均値 (市民満足度アンケート) の結果は3.12ポイントで、前年度に比べ0.16ポイントの微増となっていますが、目標を下回っています。

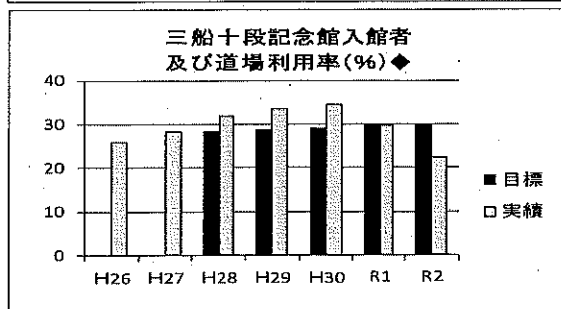
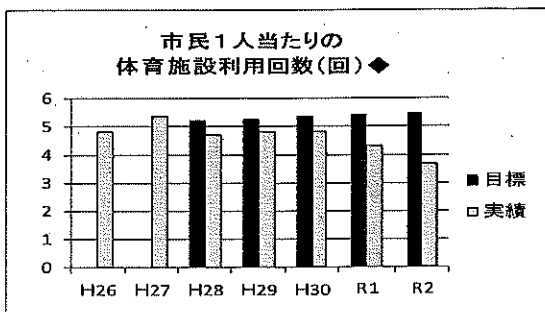
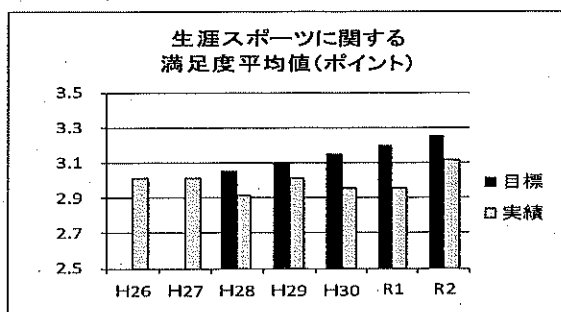
新型コロナウイルス感染症の影響により多くのスポーツイベントやスポーツ教室の中止を余儀なくされましたが、感染予防対策を講じながらスポーツ活動機会の提供を図るとともに、スポーツ施設の計画的な改修により、市民満足度がより高まるよう、生涯スポーツ推進のため努力を継続します。

【指標の状況】

◆:新型コロナウイルス感染症の影響が大きい指標

指標 (単位)	基準値	区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2
	(H26)							
生涯スポーツに関する満足度平均値 (ポイント) ※市民満足度アンケート	3.01	目標	/	3.05	3.10	3.15	3.20	3.25
		実績	3.01	2.92	3.01	2.96	2.96	3.12
		達成率	/	96%	97%	94%	93%	96%
市民1人当たりの体育施設利用回数 (回) ◆	4.85	目標	/	5.22	5.28	5.35	5.42	5.48
		実績	5.35	4.75	4.81	4.83	4.33	3.70
		達成率	/	91%	91%	90%	80%	68%
三船十段記念館入館者及び道場利用率 (%) ◆ ※総人口に占める入館者及び道場利用者数の割合	25.86	目標	/	28.33	28.76	29.21	29.66	30.12
		実績	28.37	31.77	33.40	34.56	29.78	22.47
		達成率	/	112%	116%	118%	100%	75%

※「生涯スポーツに関する満足度平均値」のH26の欄の数値はH27の数値を使用。



2) 体育施設の有効活用

【取組】

共催、後援事業を 44 回開催し、体育施設の有効活用を図りました。市民体育館、第二体育館、柔剣道場等の利用者数は延べ 127,223 人となりました。(前年度比 23,605 人減)

【評価】

市民 1 人当たりの体育施設利用回数は、前年度比 0.63 ポイントの減となりました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、4 月・5 月における休館措置や、施設の利用制限、スポーツ団体への活動自粛要請を行ったことなどによる個人・団体の利用自粛が大きく影響したものと捉えています。

また、人口減少や少子高齢化に伴い体育施設全体の利用者数は減少傾向にあることから、感染予防対策を徹底しながら、家族でもスポーツの楽しさや面白さを味わうことができるような運動教室やイベントを様々な角度から検討し、ライフステージに合わせ身近にスポーツに親しむことができる環境づくりに努めます。

3) 柔道のまちづくりの推進

【取組】

新型コロナウイルス感染症の影響により、東北・管内レベルの各種柔道大会である第 58 回三船十段杯争奪柔道大会や、市長杯争奪柔道大会は中止となりました。また、三船十段杯争奪柔道大会柔道教室や柔道錬成会、小・中学生を対象とした少年柔道強化遠征事業についても中止となりました。

三船十段記念館の活用については、資料の適正な管理・展示を行いました。

【評価】

指標である、三船十段記念館入館者及び道場利用率は前年度比 7.31 ポイント減少しました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、4 月・5 月における休館措置や、スポーツ団体への活動自粛要請を行ったことなどにより、道場利用が大きく減少したことが要因となっています。

各種柔道大会や教室等については、感染予防対策を講じながら安全な開催が可能か検討し、柔道を「する人」だけでなく、「見る人」「応援する人」を含めた柔道愛好者及び柔道人口の拡大に努めます。

IV 外部点検・評価

1 外部評価委員会の構成

役職	氏名	所属及び役職
委員長	大粒来 勝 男	久慈市スポーツ推進審議会 会長
副委員長	播 磨 孝 則	久慈市社会教育委員 議長
委員	下川原 章 勝	久慈市PTA連合会 会長
委員	沢 里 優 子	岩手県公立学校退職校長会九戸地区会 理事
委員	佐々木 和 久	久慈市文化財保護調査委員会 会長

2 評価結果

外部点検評価は「III 点検・評価の結果」の各項目及び教育委員会の活動状況について次のとおり実施し、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況は適正であると認められた。

1 学校教育の充実

1) 生きる力の育成

- ・教育の目的に基づき、「知・徳・体」の調和のとれた児童・生徒の育成を目指し、総合的な力を身に付けさせる取り組みを行っている。今後も「総合的な学習の時間」において、多彩な体験活動の工夫と充実を図り、「生きる力」の育成に努めていただきたい。
- ・学力向上の取り組みとして、時代の流れに沿った事業を実施していることから、継続をお願いしたい。CRT（教研的標準学力検査）では、中学校で学習状況が良好な生徒の割合が目標を下回っており、今後の指導により成果が上がることを期待する。
- ・積極的に地域に出て地域の方々とふれあいながら体験を深め、他校との交流で協力し合い学び合うことが、より良い刺激や地域の自然環境・人々の繋がりや体得となり、子ども達の成長につながる教育的手立てとなっている。
- ・コロナ禍への対応や防災・安全教育のほか、子ども達が成人になった時、地元に戻ってきたいと思えるような教育、職場体験などのキャリア教育の充実を図っていただきたい。
- ・東日本大震災の影響を大きく受ける時代に生まれ育ち、そしてコロナ禍の緊張の中で、自他の命を守る学校生活を送る子ども達や学校教育関係者の取り組みや努力についても評価し、その成果を認めたい。

2) 国際理解教育の充実

- ・国際的な時代背景から語学の理解度を高める内容を検討していただきたい。語学教育は頭の柔らかいうちにその環境になじむことが必要と考えるので、英語環境のみで学習する時間をできるだけ多くとっていただきたい。
- ・英語教育の達成目標値がまだ低い段階であり、英語力向上に向けた積極的かつ計画的な取り組みが弱く感じられるが、学校の情報環境の整備も進み、英語教育の成果も見えてきているという現状であり、更なる向上を期待する。
- ・外国語指導助手（ALT）の雇用と活用は久慈市において定着している。授業でのふれあいにより、児童・生徒が外国の文化や習慣などに慣れ親しむことを期待する。

3) 特別支援教育の充実

- ・「くじかがやきプラン特別支援教育支援員」の配置により、きめ細かな指導を実現しており、一人ひとりを大事にする子ども達への成長支援として効果を発揮していると考え、今後も適切な教育的支援を継続していただきたい。

4) 情報教育の充実

- ・教職員校務用パソコンや指導用タブレットのほか、児童・生徒一人ひとりが利用できるタブレット端末が整備されているが、さらなる学習環境の整備を押し進めていただきたい。
- ・これからの時代を生きる子ども達にとっては、昨今の急速なデジタル社会に対応するため、情報機器の利用とその活用モラルに関する情報教育が不可欠であり、児童・生徒、教職員、保護者に対して、より充実した指導を行っていただきたい。

5) 学習環境の充実

- ・遠距離通学支援及び就学援助は、子ども達の学ぶ権利の保障であり、久慈市のゆとりのない財政状況の中での推進・充実に感謝したい。今後も継続して支援することをお願いしたい。

6) 学校施設の充実

- ・学校施設については、関係法令に適合するよう計画的に改修しているほか、老朽化や児童・生徒数の減少、津波等の今後の自然災害と、課題が山積する現状と向き合い、検討を重ね充実を図っている。
- ・新型コロナウイルス感染症対策もあり、引き続き予算配分が大変な状況とは思いますが、安全で快適な楽しい学校生活を送ることができるよう、適切な環境整備と維持管理に努めていただきたい。
- ・現在の久慈湊小学校区は軟弱地盤も懸念される地域であり、ハザードマップや浸水想定区域などを参考に、危険性を十分把握したうえで移転計画を進めていただきたい。

7) 学校給食の充実

- ・地場産食材を活用した給食の提供は、地元食材の豊かさや安心度から大変好ましいことである。今後も安心・安全な給食の提供に努めるとともに、食育授業やふれあい給食の日などの取り組みを継続していただきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症等の影響から、経済不安の大きい家庭の増加が懸念される今日にあって、学校給食が子ども達の成長を支える役割は大きい。

2 生涯学習の充実

1) 生涯学習の充実

- ・各市民センターを拠点に、各世代のニーズに応じた講座や教室などの学習機会を多数提供するとともに、各センター広報を発行するなど、生涯学習の啓発に努めている。また、学校・家庭・地域全体で子どもを育む環境づくりを目的とした事業は、それぞれの場で効果を発揮し、地域においても着実に根付いていると考える。今後も市民のニーズを定期的に調査し、生涯学習の充実を図ることを期待する。
- ・公民館類似施設等社会教育事業補助金の制度は、まさに市民の主体的な生涯学習を推進するための大きな支援となっている。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、計画した事業の多くが中止となったことはやむを得ないところだが、この経験を今後の危機管理に活かしてスピーディーに対処できるよう努めていただきたい。

2) 文化施設の連携と芸術文化活動の充実

- ・アンバーホール及びおらほ一を拠点として、芸術監督監修による鑑賞型事業をはじめ、育成・参加型事業、助成事業を実施し、市民のニーズに応えている。また、文化会館の音響設備改修などを行い、環境整備に努めており、今後も市民の芸術文化活動を積極的に推進し、優秀な人材を輩出することを期待する。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事業の自粛や文化施設の利用制限などがあったが、安全・安心を優先しながら事業の実施に努めたことが理解できる。今後も多くの文化芸術活動事業の実施と貸館の利用促進について、現状で可能な形態・仕様の中で、柔軟な対応に努めていただきたい。また、ホールのエリアを分割するなど、なるべく多くの団体が利用できるような体制づくりを検討していただきたい。

3) 図書館機能の充実

- ・新図書館を整備し、最新式の蔵書管理や自動貸出機の導入を進めるなど、機能と利便性の向上を図っている。また、指定管理者による管理運営に移行し、市民のニーズに応じた各種サービスや企画展などを実施しながら、読書への関心や図書館事業への理解を深めている。今後とも駅前立地や複合施設の特性を生かした事業の企画と施設運営を継続していただきたい。
- ・利便性が向上した新図書館には、幅広い年代の利用者の姿が見られる。新型コロナウイルス感染症の影響も大きく受け、事業推進には困難も多いと思うが、市民が利用しやすい場としての機能を十分果たしている。

4) 地域の歴史と文化の継承と発信

- ・久慈市歴史民俗資料室を中心として貴重な資料の収集・保存・修復等を行うとともに、収蔵物の一般公開や出前講座等を開催し、後世に伝えている。新型コロナウイルス感染症の影響を受け事業実施ができない中でも、地域の文化財の保存と調査、情報発信を継続してきたことは心強く感じている。

- ・文化財や伝統芸能の保存・継承をはじめ、地域の歴史・文化、遺跡や史跡等の調査研究の進展を望むとともに、古い文化を知る貴重な施設として、常時見学できる「歴史民俗資料館」の早期整備に取り組むようお願いしたい。

3 生涯スポーツの振興

1) 生涯スポーツの充実

- ・久慈市スポーツ推進計画を策定し、生涯スポーツの振興に必要な目標や取り組み等の方向性を定めて推進している。今後も進行管理及び評価をしっかりと行い、計画を達成するよう努めていただきたい。
- ・コロナ禍において、多くの人々が自宅での運動・トレーニングの必要性を実感し、身体を動かそう、鍛えようとしている。人々はまさに今、誰でも参加できるさまざまな運動の機会を待ち望んでおり、市民が気軽に取り組める事業の定着化が必要である。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大と長期化によって、計画した事業の多くが中止となり大きな影響が出たのはやむを得ないが、この経験を今後の危機管理に活かしていただきたい。

2) 体育施設の有効活用

- ・各種体育・スポーツ大会等の共催・後援による施設利用促進をはじめ、指定管理者による各種サービスの提供や市民のスポーツニーズに応じた運動教室等の開催を通じて適切に活用されている。今後さらに市民や若者が身近にスポーツに親しむことができる環境づくりに努めていただきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館・利用制限などにより、体育施設利用者数は前年度を下回る結果となっている。今後において指定管理者や体育関係団体等と連携しながら更なる体育施設の有効活用が図られるよう期待する。
- ・感染の鎮静化により、感染予防対策の徹底を図りながら、体育施設が人々の笑顔と歓声で満たされることを期待する。
- ・現在の体育施設の多くは設置から30年以上経過し老朽化が著しいことから、計画的な改修等を行い適切な維持管理に努め、施設を継続していただきたい。
- ・総合運動公園の建設が必要である。

3) 柔道のまちづくりの推進

- ・柔道の競技力向上と地域の活性化、親しみやすい柔道の普及を基本に掲げて継続的に取り組んでいる。特に、三船十段杯争奪柔道大会は、東北各県の精鋭が一堂に会する大会として注目されている。また、児童・生徒を対象とした柔道教室、柔道練成会、少年柔道強化遠征事業などの取り組みの成果が各種柔道大会における成績に表れている。今後も三船十段記念館を中心とした「三船久蔵の生誕地・久慈」のPRと合わせ、柔道のまちづくりを推進していただきたい。

- ・柔道の種目の特性から、コロナ禍での柔道大会や柔道教室等の開催が難しく、自他の命を守る事が最優先で事業の推進が叶わなかったが、そのような中でも、三船十段記念館を適切に管理し、展示を継続したことは評価できる。また、新たに移動展の開催などで光を当てることも検討していただきたい。

4 教育委員会の活動状況

- ・毎月の教育委員会議定例会及び臨時会において、各委員の高い関心と識見のもと、教育に関する案件や教育委員会に求められた案件について検討し議決されている。また、開催にあたっては「広報くじ」に開催予定や傍聴案内を掲載し広く周知を図っており、透明性は十分確保されている。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、教育機関は学校行事の中止や延期、公共施設等は臨時休館や利用制限を余儀なくされ、児童・生徒・保護者など市民の活動に大きな影響が出たところであり、これらを踏まえた今後の課題等について検証し、対応に努めていただきたい。
- ・教育費決算における予算執行率は93.84%で、前年度より4.97ポイント向上している。今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い開催中止となった事業や大会等の実行委員会に対し、財政的な支援を行うことを期待する。
- ・教育委員会の組織体制は、久慈市の目指す将来像「子どもたちに誇れる 笑顔日本一のまち 久慈」の具現化に向けたものとなっている。また、冊子「久慈の教育」に教育委員会所管の業務等をまとめ、施策の推進に尽力している。今後も教育行政の諸課題の解決のため、必要な人材・人員・予算を確保し、諸施策を展開することを期待する。

参 考 資 料

資料1 令和2年度教育関連事業費決算概要

資料2 教育委員会機構図

【資料1】

令和2年度 総務費(2款・教育関連)決算

款	項	目	科目名称	予算現額	支出済額
2	総務費			65,610,674	65,610,674
	1	総務管理費		65,610,674	65,610,674
		1	一般管理費	65,250,674	65,250,674
			新型コロナウイルス対策事業費	26,222,674	26,222,674
			公共施設等感染症防止対策事業費	39,028,000	39,028,000
		10	諸費	360,000	360,000
			九戸地方育英会負担金	310,000	310,000
			久慈高等学校長内校定時制教育振興会補助金	50,000	50,000

令和2年度 教育費(10款)決算

款	項	目	科目名称	予算現額	支出済額
10	教育費			2,198,345,000	2,062,859,016
	1	教育総務費		236,581,000	228,069,147
		1	教育委員会費	2,805,000	2,748,000
			教育委員報酬	2,688,000	2,688,000
			教育委員活動費	117,000	60,000
		2	事務局費	185,202,000	179,245,123
			職員給与費	122,057,000	121,396,295
			教育委員会事務局経費	3,838,800	3,080,044
			教育奨励賞、市民文芸賞褒賞経費	871,000	663,363
			児童生徒教職員健康診断経費	12,085,000	10,166,233
			就学支援委員会経費	3,655,200	3,367,840
			中高生海外派遣事業費	86,000	0
			くじかがやきプラン事業費	38,571,000	37,282,545
			AED設置経費	1,317,000	883,182
			幼児ことばの教室事業費	625,000	443,474
			霜畑小学校閉校記念事業実行委員会補助金	680,000	680,000
			全国都市教育長協議会負担金	14,000	14,000
			東北都市教育長協議会負担金	5,000	4,700
			岩手県市町村教育委員会協議会負担金	17,000	16,800
			久慈地方教育委員会協議会負担金	690,000	690,000
			岩手県難聴・言語障害教育研究会負担金	15,000	15,000
			岩手県学校図書館協議会負担金	102,000	99,560
			岩手県特別支援教育研究会負担金	85,000	85,000
			久慈地域生徒指導推進協議会負担金	113,000	113,000
			久慈地区特別支援教育研究協議会負担金	85,000	85,000
			諸会議出席負担金	33,000	4,000
			久慈市学校保健会補助金	254,000	154,000
			私立幼稚園就園奨励費補助金	1,000	0
			学校施設整備基金積立金	2,000	1,087

款	項	目	科目名称	予算現額	支出済額
		3	教員住宅費	2,673,000	2,630,118
			教員住宅維持管理費	2,673,000	2,630,118
		4	教育職員研修費	227,000	50,800
			教育職員研修経費	227,000	50,800
		5	教育研究指導費	45,674,000	43,395,106
			教育研究所運営費	7,784,000	7,450,693
			教師用教科書指導書購入経費	19,324,000	18,820,382
			派遣指導主事経費	10,764,000	9,962,158
			小・中学校音楽発表会実施事業費	519,000	491,790
			学校適応指導事業費	2,947,000	2,895,859
			校外施設学習経費	264,000	65,600
			教師用教科書指導書購入経費〔債務負担〕	2,933,000	2,874,800
			学びのサポート学習塾事業費	144,000	0
			スクールソーシャルワーカー派遣事業費	451,000	290,760
			修学旅行キャンセル料補助金	501,000	500,064
			岩手県教育研究所連盟負担金	4,000	4,000
			東北地区教育研究所連盟負担金	1,000	1,000
			久慈市小中高生徒指導連絡協議会負担金	38,000	38,000
	2		小学校費	440,241,000	403,881,156
		1	学校管理費	186,354,000	176,086,731
			職員給与費	32,312,000	31,788,306
			学校管理経費	93,534,000	87,997,335
			学校維持補修経費	36,811,000	36,390,833
			遠距離通学支援事業費	6,890,000	6,372,348
			学校図書整備費	2,181,000	2,178,592
			学校保健各種検査経費	1,950,000	1,678,787
			全国市長会学校災害賠償補償保険料	204,000	203,780
			遠距離通学支援事業費〔債務負担〕	10,848,000	7,936,650
			独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金負担金	1,624,000	1,540,100
		2	教育振興費	253,887,000	227,794,425
			理科教材設備費	2,579,000	2,141,216
			要保護及び準要保護児童援助費	28,447,000	23,097,988
			特別支援教育就学奨励費	1,367,000	1,052,580
			情報処理教育振興事業費	191,546,000	189,956,244
			情報処理教育振興事業費〔翌年度繰越分〕	17,750,000	0
			集合学習推進事業費	29,700	20,664
			総合学習推進事業費	1,066,300	611,732
			教育活動費	11,102,000	10,914,001

款	項	目	科目名称	予算現額	支出済額
	3	中学校費		445,000,000	403,711,021
	1	学校管理費		293,078,000	269,147,644
		職員給与費		8,011,964	7,470,231
		外国語指導助手招へい事業費		13,992,036	10,102,746
		学校管理経費		64,480,000	60,054,404
		学校維持補修経費		152,126,000	149,942,409
		遠距離通学支援事業費		29,446,000	23,857,848
		学校図書整備費		3,684,000	3,258,415
		学校保健各種検査経費		2,638,000	2,233,341
		全国市長会学校災害賠償補償保険料		109,000	108,954
		スクールバス整備事業費		4,086,000	3,314,399
		遠距離通学支援事業費〔債務負担〕		4,897,000	3,100,260
		部活動指導員配置事業費		2,241,000	1,880,513
		外国語指導助手補充事業費		1,910,000	1,894,664
		独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金負担金		951,000	851,425
		中学校文化・体育大会参加補助金		4,400,000	1,078,035
		岩手県中学校総合体育大会久慈大会運営費補助金		106,000	0
	2	教育振興費		151,922,000	134,563,377
		理科教材設備費		1,323,000	1,103,663
		要保護及び準要保護生徒援助費		22,706,000	18,235,285
		特別支援教育就学奨励費		1,089,000	922,807
		情報処理教育振興事業費		105,486,000	104,467,736
		情報処理教育振興事業費〔翌年度繰越分〕		10,923,000	0
		総合学習推進事業費		740,000	440,980
		教育活動費		9,655,000	9,392,906
	4	社会教育総務費		471,435,000	446,444,937
	1	社会教育総務費		142,119,000	135,391,628
		社会教育委員報酬		286,000	197,100
		職員給与費		105,982,000	104,344,000
		社会教育委員活動費		120,000	32,560
		社会教育指導員経費		6,095,000	6,059,325
		社会教育行政事務費		894,400	580,764
		生涯学習推進事業費		1,298,600	953,896
		文化財保護調査委員活動費		223,000	58,760
		文化財保護事業費		5,003,000	3,459,135
		芸術文化振興事業費		328,000	0
		郷土芸能祭開催経費		993,000	474,430
		文化財保管・展示施設維持管理費		4,730,950	4,097,838
		学校・家庭・地域の連携協力推進事業費		12,047,050	12,032,620
		岩手県社会教育連絡協議会負担金		34,000	33,500
		岩手県文化財愛護協会負担金		39,000	38,700
		岩手芸術祭巡回美術展負担金		100,000	100,000
		社会教育関係団体育成補助金		146,000	73,000
		公民館類似施設社会教育事業費補助金		3,000,000	2,147,000

款	項	目	科目名称	予算現額	支出済額
			久慈市教育振興連絡協議会補助金	511,000	421,000
			久慈市郷土芸能保存団体協議会補助金	288,000	288,000
		2	図書館費	73,717,000	70,753,148
			図書館協議会委員報酬	87,000	41,300
			図書館運営管理費	16,184,000	14,605,189
			図書館活動経費	890,000	799,604
			移動図書館車管理経費	565,000	412,821
			図書館で行う子育て応援事業費	12,000	8,030
			久慈市立図書館指定管理費〔債務負担〕	38,236,000	38,236,000
			図書館運営管理費〔債務負担〕	17,222,000	16,131,382
			図書館で行うまちの魅力発見事業費〔地方創生〕	500,000	498,322
			岩手県図書館協会負担金	10,000	9,700
			岩手県地域視聴覚教育協議会負担金	11,000	10,800
		3	文化会館費	233,332,000	218,677,693
			文化会館運営管理費	114,829,000	104,042,165
			文化会館運営管理費〔繰越明許〕	73,480,000	73,480,000
			文化会館自主事業費	23,570,000	19,704,053
			文化会館感染症防止対策事業費	21,421,000	21,419,475
			公立文化施設連絡協議会負担金	32,000	32,000
		4	三船十段記念館費	22,267,000	21,622,468
			職員給与費	13,675,000	13,403,255
			三船十段記念館運営管理費	8,587,000	8,214,213
			岩手県博物館等連絡協議会負担金	5,000	5,000
	5		保健体育費	605,088,000	580,752,755
		1	保健体育総務費	46,104,000	41,535,776
			職員給与費	32,194,000	31,128,942
			スポーツ推進審議会及びスポーツ推進委員経費	1,768,000	1,557,968
			社会体育行政事務費	276,000	121,336
			学校体育施設開放事業費	3,202,000	2,849,353
			生涯スポーツ推進事業費	231,000	97,326
			スポーツ振興号管理経費	636,400	354,374
			柔道タウン推進事業費	150,000	0
			三船十段杯争奪柔道大会経費	600	0
			東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業費	597,000	252,177
			岩手県スポーツ推進委員協議会負担金	56,000	56,000
			岩手県公立武道館協議会負担金	5,000	5,000
			久慈地区ふれあい柔道・剣道大会開催負担金	145,000	0
			久慈もぐらんぴあ駅伝競走大会負担金	50,000	50,000
			岩手県体育施設協会負担金	2,000	2,000
			地域海洋センター岩手県連絡協議会負担金	30,000	30,000
			久慈市体育協会補助金	4,444,000	3,876,680
			スポーツ少年団育成事業費補助金	1,967,000	1,154,620
			生涯スポーツ全国大会等選手派遣費補助金	350,000	0
		2	体育施設費	114,899,000	114,403,871
			体育施設指定管理費〔債務負担〕	98,310,000	98,310,000
			体育施設維持管理費	16,589,000	16,093,871

款	項	目	科目名称	予算現額	支出済額
		3	学校給食費	444,085,000	424,813,108
			学校給食センター運営委員会委員報酬	61,000	24,400
			職員給与費	33,317,000	32,780,235
			学校給食センター運営管理費	407,972,000	391,310,966
			学校給食センター運営管理費〔翌年度繰越分〕	2,036,000	0
			学校給食費返還等事業費	677,000	675,507
			岩手県学校給食センター協議会負担金	7,000	7,000
			久慈地区学校給食センター連絡協議会負担金	15,000	15,000

【資料2】

令和3年度 教育委員会 機構 図

